

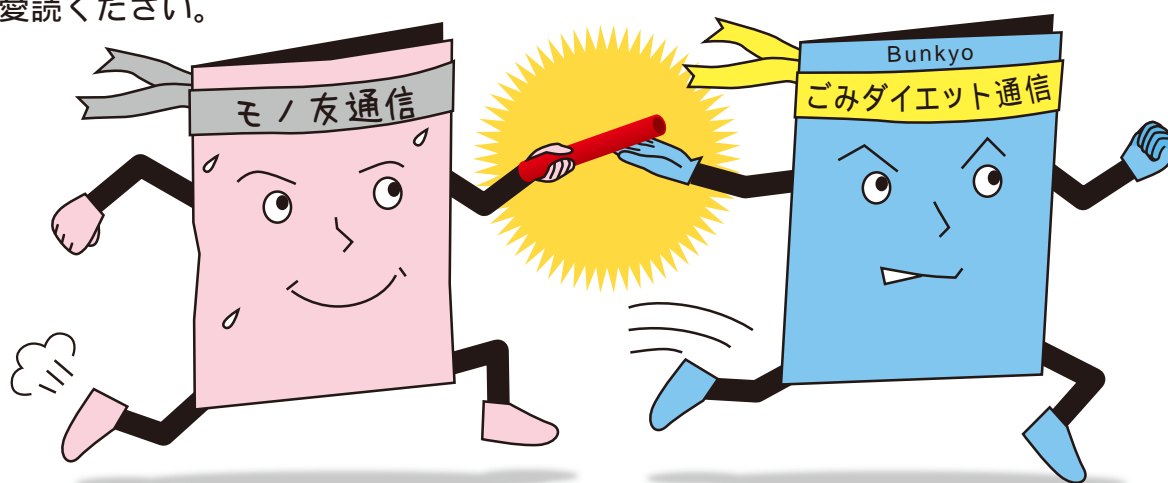


# Bunkyo ..... ごみダイエット通信

## 《創刊にあたって》

区民の皆さんが主体的に編集に取り組み、約10年の長きにわたり親しまれてきた「モノ友通信」が今年の3月に閉刊しました。

今回新たに発行する「Bunkyoごみダイエット通信」は、モノ配慮社会を目指した「モノ友通信」の理念を受け継ぎ、その実現に向けて、さまざまな情報を発信していきます。どうぞご愛読ください。



## 被災地支援に行ってきました

今回の東日本大震災における被災地支援のため、文京清掃事務所とリサイクル清掃課から8名の職員が5月1日から7日まで派遣されました。職員を代表して、文京清掃事務所長に話を聞いてみました。

私は宮城県仙台市に派遣され、主に若林区と宮城野区という二地区で、災害ごみの収集・運搬業務に従事しました。二地区とも被害の程度は場所によって異なるものの、津波被害を受けた地区については凄まじい光景が広がっていました。特に若林区は平野が多く津波をせき止める高低差があまりなかったためなのか、見渡す限り瓦礫が散乱しているという状況であり、このような状況でどのように動けばいいのかと絶句するほどでした。私は阪神淡路大震災の被災地にも行ったことがあります、今回の被害はより深刻な状況だとすぐに感じました。



今回第一陣として目黒区を中心としたグループ、第二陣に中央区を中心としたグループ、そして、第三陣として文京区を中心としたグループが被災地での業務にあたりました。それぞれ人員100名、車両30台の部隊です。瓦礫の撤去と言うよりは、それぞれの家や庭に流されてきた生活ごみ（日用品、家電、粗大ごみ等）を清掃車で収集し、集積所や清掃工場に運搬する業務を行いました。

私たちは一週間ほど被災地で業務にあたりました。従事職員の士気はものすごく高く、朝早くから夜遅くまで従事し、最終日もギリギリまで収集にあたりました。被災地では混乱も見られ、自ら情報を集めながら収集に向かったこともありました。かなりのゴミを処理し、現地事業所の人も驚くほどでした。それでも、まだ大量のごみが残され、まったく手がつけられていないところもあります。その点は心残りとしてありますが、やりがいがあったのは間違いありません。かなりハードな一週間だったと思いますが、もう一度被災地に行きたいと思っている職員も多くいます。



●津波で流されてきたごみであふれている。

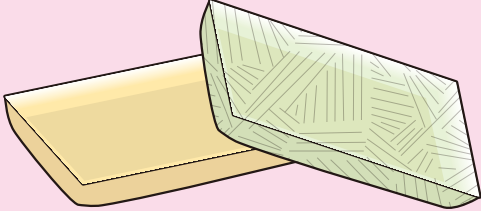





●作業の様子。右の写真は津波等で地面が不安定なため、使用できなくなった畳を敷いて通路を確保している。

復興にはまだかなりの時間を要します。我々のように直接現地に行くことだけが支援ではありません。すでに節電や募金などに取り組まれていると思いますが、今一度何ができるかを考えてみていただければと思います。

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

# 7月1日より、資源の拠点回収に 新たな品目が加わりました！ (集積所では回収していません)

<p>有色トレイ</p>	<p>現在回収している白色トレイに加えて、新たに色つき・柄つきトレイも回収します。</p> <p>回収方法 水で軽く洗って、乾かしてから回収箱へ入れてください。</p> <p>回収できないもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 食品用ではないトレイ</li> <li>• 硬質のトレイ（つまようじで刺せないもの）</li> <li>• 納豆や即席めんの容器、緩衝材などトレイではないもの</li> </ul>	
<p>プラスチック製ボトル</p>	<p>ブラマーク  が入っている、シャンプーやリンス、ソースなどの容器として使用されているプラスチック製のボトル容器を回収します。</p> <p>回収方法 キャップやポンプ(シャンプーなどの場合)を取り除き、ボトル内を洗ってから回収箱へ入れてください。</p> <p>回収できないもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• チューブタイプの容器（マヨネーズや歯磨き粉チューブなど）</li> <li>• 油の入った容器など、汚れの激しいもの</li> </ul>	
<p>インクカートリッジ</p>	<p>ご家庭で使用済みのインクジェットプリンター用インクカートリッジを回収します。 この事業はプリンタメーカー6社共同プロジェクト「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」に参画したものです。</p> <p>ご注意いただきたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 対象メーカー6社（ブラザー、キヤノン、デル、エプソン、ヒューレット・パカード、レックスマーク）において、高度なリサイクル処理を行なうため、6社の純正カートリッジのみを入れてください。</li> <li>• 著しい破損品、改造品はリサイクルの障害になるため、回収できません。</li> <li>• カートリッジ以外のもの（例：袋や箱など）は入れないでください。</li> </ul>	

上記の3品目は、シビックセンター1階・地域活動センター・播磨坂清掃事業所に設置してある回収箱にて回収しています。

また、ペットボトルキャップを区内の酒店等で回収する事業も同時に始まりました。回収店舗は区ホームページまたはリサイクル清掃課までお問い合わせください。

## 粗大ごみの資源化を開始しました

4月1日より、ご家庭から出された粗大ごみの中から資源となるものを回収し、資源化する事業を始めました。資源化するのには、主に電子レンジやビデオデッキ等の家電製品やスチールラック等の金属製の粗大ごみで、民間の資源化施設に搬入した後、分解して、鉄や銅、基板等を取り出し、再生事業者へ引き渡してリサイクルします。



①資源化可能な粗大ごみを選別



②分解



③金属類や基板(レアメタル)を回収

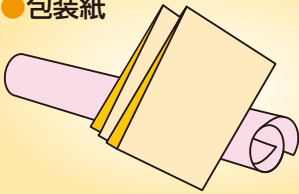
# 雑がみリサイクルにご協力を!

新聞・雑誌・段ボールだけでなく、身の周りの包装紙・紙袋・お菓子やティッシュの空き箱なども「雑がみ」として分別すれば、資源としてリサイクルすることができます。

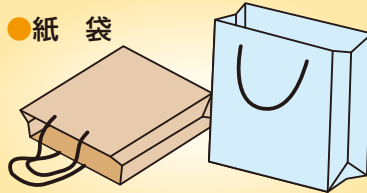
ごみとして出してしまう前に「雑がみ」を分けて、週1回の資源の日に出しましょう。

## 雑がみってどんな紙?

### ●包装紙



### ●紙袋

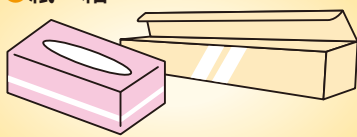


紙以外の持ち手は可燃ごみへ

### ●パンフレット

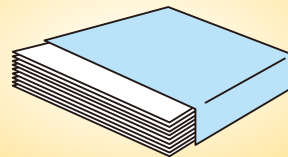


### ●紙箱

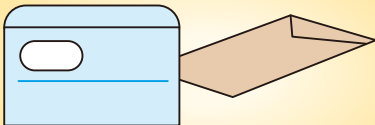


ビニール部分は可燃ごみへ

### ●コピー用紙



### ●封筒



窓付き封筒のセロファンは可燃ごみへ

### ●チラシ



新聞の折込チラシは新聞と一緒に出せます

### ●カレンダー



金具は外して不燃ごみへ

フィルム・ビニール・セロファン・金具類など、紙以外の部分は外し、分別区分にしたがって、ごみとして出しましょう。  
ビニール等で表面が加工されている紙類は可燃ごみへ。

## 雑がみの便利な出し方



## これらの紙は雑がみではありません 可燃ごみに出しましょう

